

## 介護老人保健施設しおさい 入所部門 関 邦也

**功 績** 今年度、入所部門は前年度の介護主任のグループ移動と介護リーダー退職に伴い、新体制となりました。人員がマイナス2名のまま新年度のスタートを切ることになり、入所全体が不安の中、まさに今年度のグループ全体の理念である「ワンチームで、ビジョン達成を!」を実行し、入所部門をひとつのチームに作り上げた功績。

**推 薦 者** 入所部門 長嶋 とも美

**推 薦 理 由** 今年度、新体制で動き始めた入所部門を、関の高いリーダーシップ・洞察力・責任感・人間力が、入所部門のチーム作りに大きく貢献していると思います。人員が欠けた中でも、業務改善だけではなく、それによって出来た時間を利用しレクリエーションや楽しみの提供といった時間が出来るなど成果が見られています。この功績は理事長賞に値すると思います今回、理事長賞候補に推薦させていただきます。

### 内 容

前年までの介護主任のグループ移動と介護リーダーの退職に伴い、今年度は新体制で迎える形となりました。誰もが、今年度の人員が欠けている不安のある中、関は入所部門の教育担当を快諾して下さいました。主任としての力を兼ね備えた職員ですが、「教育担当なら…」と受けて下さったのは、「自分は裏方の立場から、若い世代を主任に育てたい」という気持ちからでした。関は、4月の入所部門ミーティングで、「今年は新しい体制で、絶対に良い雰囲気になるから、全員で部署長を筆頭に頑張ろう。みんなで同じ方向を向いて進んでいこう。」と士気を高めてくれました。

その発言通り、普段から職員の声に耳を傾け、職員の仕事の動きを把握するなど、自ら入所全体のバランスを確認し、そして前年度からの課題だった残業に繋がる早番の勤務時間見直しから始め、早番の残業時間を0としました。またその他の今まで改善してこれなかった問題点を洗い出し、一つ一つをミーティング内でメンバーと話し合い業務改善や、早番に続き、遅番勤務時間の見直しなど、あらゆる角度から切り込み、自分たちの手で働きやすい環境作りに尽力してくれました。常に、利用者さんが安全であり、且、職員にとっても良い環境を目指し、抜本的な業務改善に取り組んでくれています。

また9月末には栄養部門が危機的状況になった際も、自部署のことを考えたら、負担が大きくなる可能性がある提案が来た際に、入所部門のほとんどの人が後ろ向きな気持ちとなった中、入所ミーティングで「みんなにとっては、自分の部署が大変に思えるけど、大変なのは自分達だけじゃない。栄養課も大変だ。その中で利用者さんに迷惑をかけず、安全に食事を提供するために自分たちが出来ることを考えよう」と発言し、気持ちをひとつにまとめてくれました。自部署だけではなく、他部署のことを思いやる気持ちや、その行動は、まさにワンチームの要となっていると思います。今年度、私自身、どれだけ救われているかわかりません。「裏方」でありながら、入所部門全体をひとつのチームとして作り上げてくれる功績は大きく、理事長賞に値すると思います、推薦させていただきます。